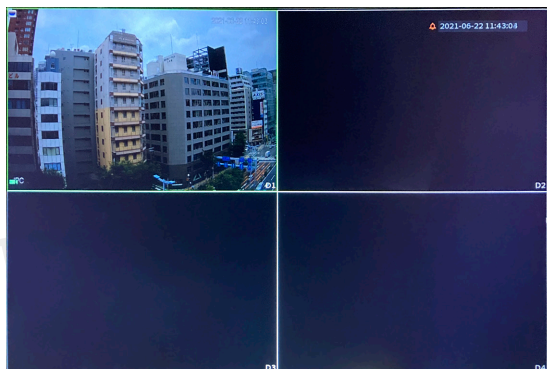


防犯カメラ操作説明書

基本編 (簡易版)

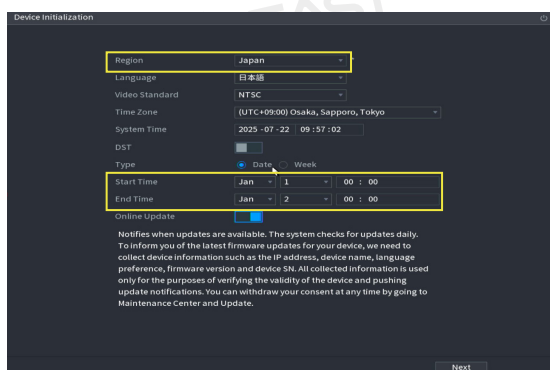
本説明書 ②以降は、① スタートアップの完了が必須です。

掲載されている画像および仕様は製品アップデートのため予告なく変更される場合があります、
実際の製品とは異なる場合がございます。



初期画面

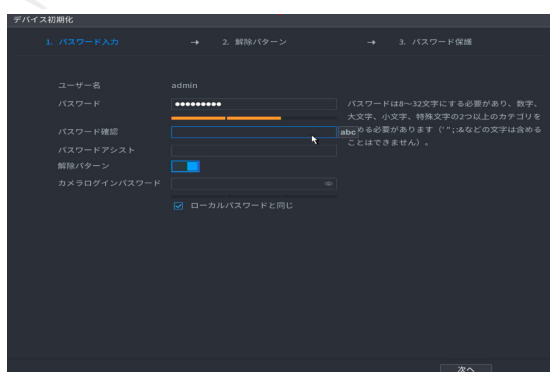
1 スタートアップ



- ①一番上にある Region を「Japan」に変更して、「Next」ボタンを押してください。

※変更後、Language は「日本語」、VideoStandard は「NTSC」、Time Zone は「Osaka,Sapporo,Tokyo」に自動的に変更されます。変更されない場合は手動で変更してください。

※「DST」はサマータイムに関する設定の為、日本では設定不要です。



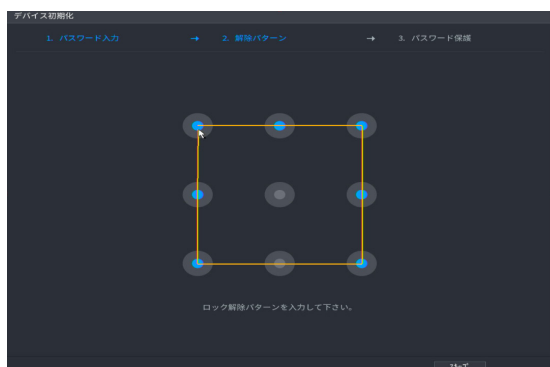
- ②画面の案内に従い各項目を入力してください。

※パスワードアシスト：あくまでパスワードのヒントです。

パスワードと同じにはしないでください。

解除パターン：レコーダーのログイン

にパターン入力を使用します(青色でオン)。カメラログインパスワード：「ローカルパスワードと同じ」にチェックを入れると、レコーダーの PoE ポートに接続したカメラはレコーダーと同じパスワードが設定されます。



- ③クリック&ドラッグで4点以上連続して点を繋ぎます。入力確認のために同じ繋ぎ方でもう一度入力します。

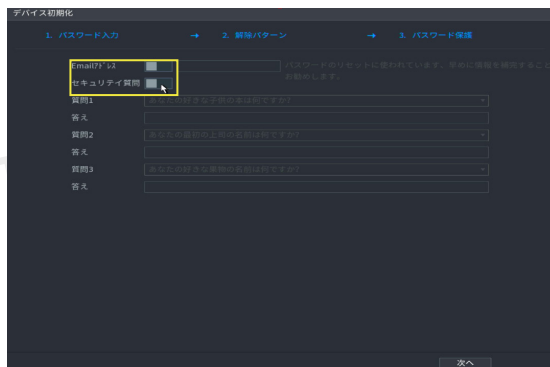
※画像の繋ぎ方は一例です。

他の例は、L字型もしくは逆L字型です。

※入力した解除パターンはログイン時に必要になるので、お忘れにならないようご注意ください。

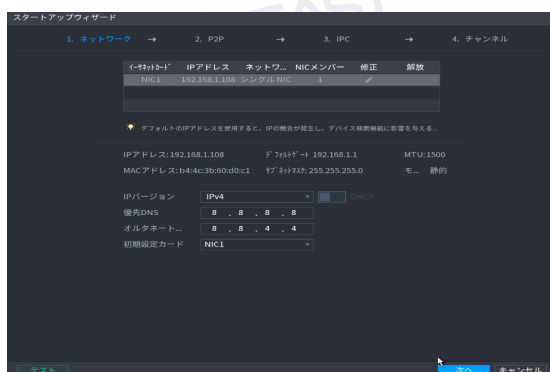
防犯カメラ操作説明書 基本編(簡易版)

SUN-EAST



- ④パスワードを忘れてしまった時の為の設定です。
不要な場合、又は後から設定する場合は、
それぞれをオフにしてください(灰色でオフ)。

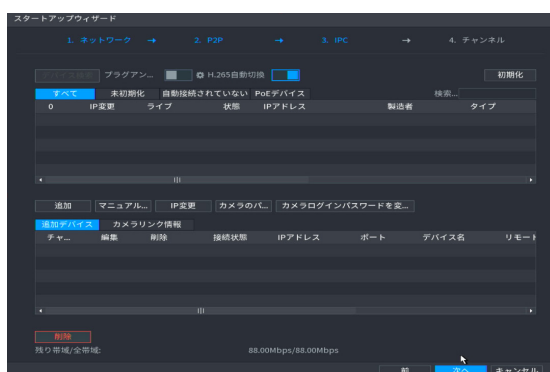
※設定する場合は、設定した内容をお忘れにならないようにご注意ください。



- ⑤レコーダー本体の IP アドレス設定です。
ご使用の環境に合わせて任意のアドレスを設定
して下さい(後からでも設定できます)。
DHCP オンを推奨します。



- ⑥遠隔監視をする場合はオンにしてください
(青色でオン)。



- ⑦レコーダーに登録するカメラを選択します。レコーダー
の PoE ポートにカメラを接続している場合は自動登録
されます。ハブ等を介して同ネットワーク上に存在する
カメラを登録する場合は、上側に表示されている一覧
から選択し、追加を押します(後からでも設定できます)。

※「鉛筆マーク」をクリックするとカメラ設定の編集、「ゴミ箱マーク」
をクリックすると接続の解除を行えます。

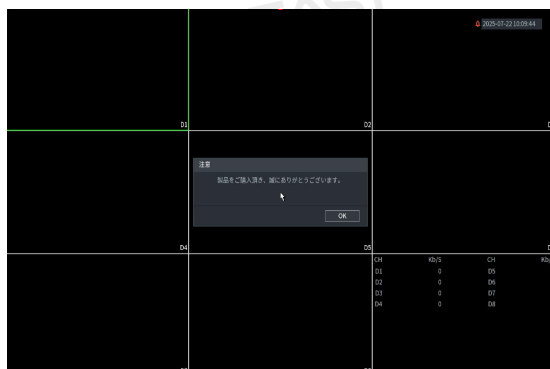
防犯カメラ操作説明書 基本編(簡易版)

SUN\EAST

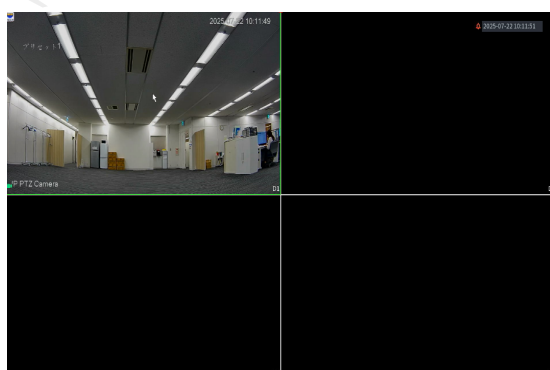


- ⑧搭載されている HDD が表示されます。
初回は必ずフォーマットを行ってください。

※チェックボックスにチェックを入れ、「フォーマット」ボタンをクリックするとハードディスクを初期化することができます。

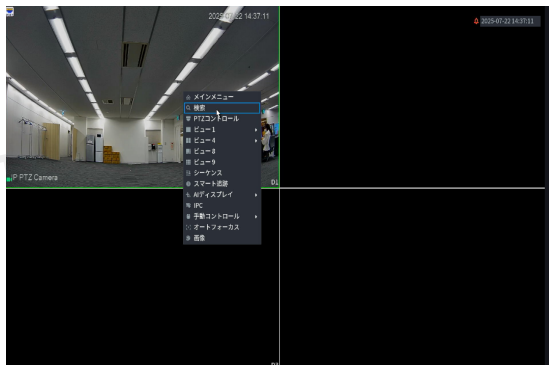


- ⑨「製品をご購入いただき、ありがとうございます」と表示されたらスタートアップは終了です。

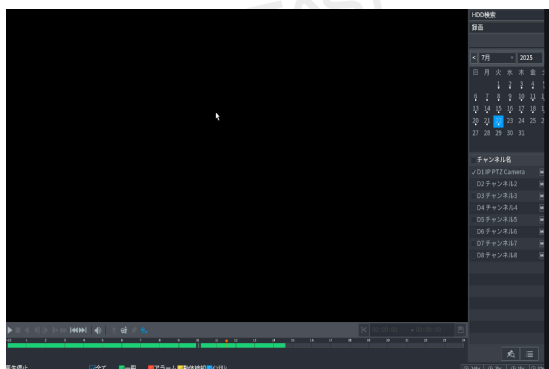


- ⑩ロックが解除され、監視映像が表示されます。

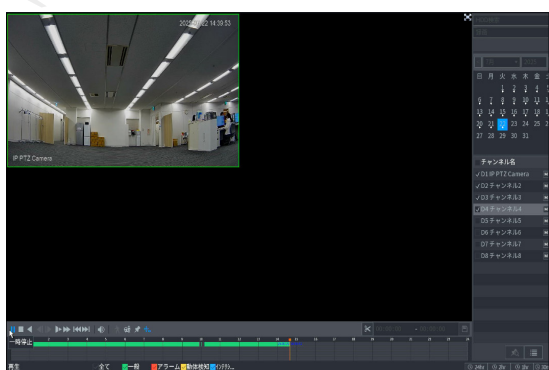
2 再生



- ①ライブビュー画面で右クリックし、
「検索」を選択します。

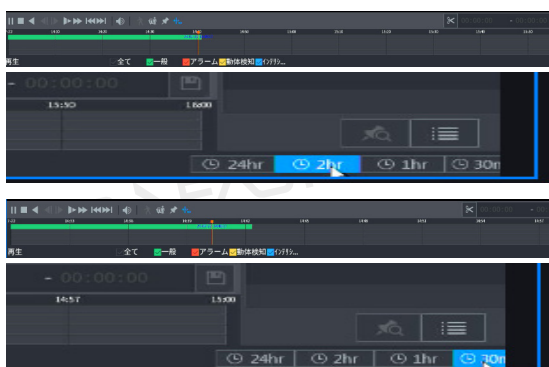


- ②監視映像が録画されている日には日付の下に白丸がついています。
録画を確認したい日付を選択し、下に表示されている一覧から再生したいカメラにチェックを入れます。



- ③画面下部にあるタイムラインに録画時間帯が表示されます。タイムライン上の再生を開始したい位置をクリックすると再生されます。
また画面下部にあるメニューからでも再生・停止などの操作を行えます。

※再生されている時に、日付の変更は出来ませんので、停止してから変更してください。

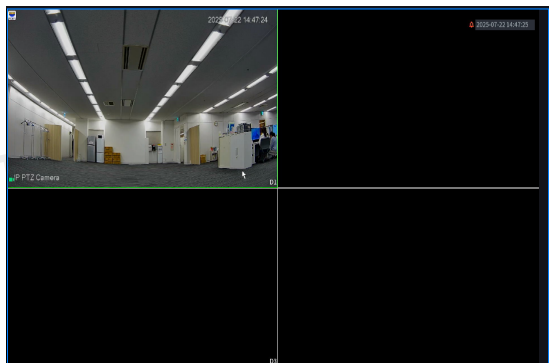


- ④画面右下にある4つのボタンを押すと、録画データの表示時間範囲を変更することが出来ます。

■2時間表示の場合

■30分表示の場合

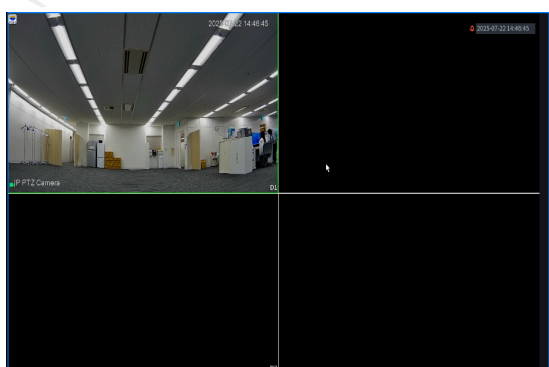
3 画面の分割・拡大設定



- ①ライブビュー画面は、
デフォルトでは分割表示になっています。

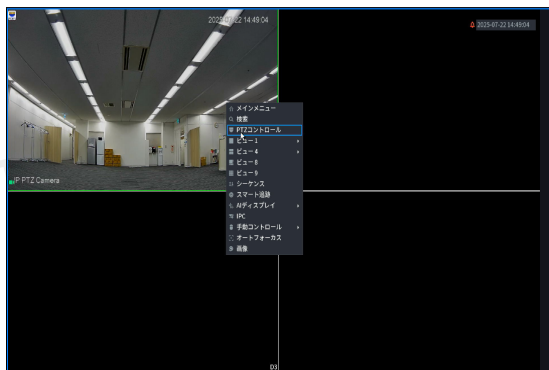


- ②拡大表示をするには拡大したいカメラの映像を
ダブルクリックしてください。

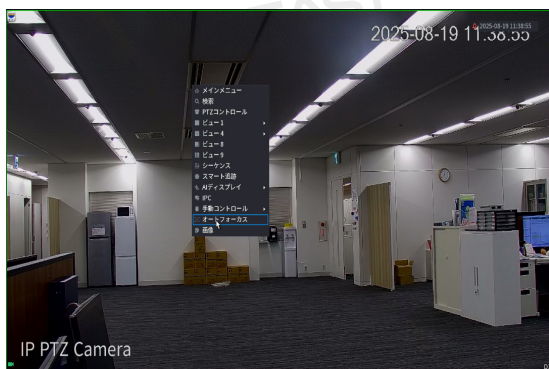


- ③もう一度ダブルクリックすると分割表示に戻ります。

4 オートフォーカス ※電動バリフォーカルレンズカメラのみ対応



①ライブビュー画面で設定をしたいカメラの画面上で
右クリックし、オートフォーカスを選択します。

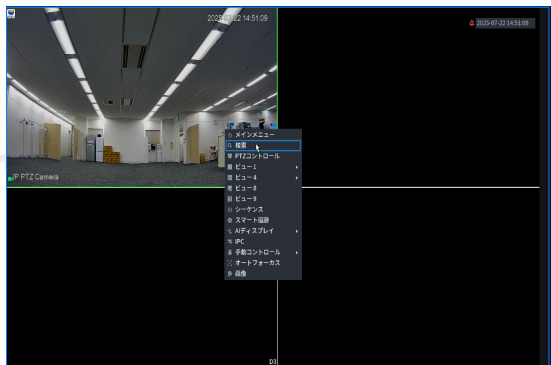


②表示されたメニューから操作を行います。



③四角部の「ズ…」がズームの項目です。
「-」と「+」で操作します。設定が完了したら、
画面上で右クリックしてください。メニューが閉じます。
設定が完了したら、画面上で右クリックしてください。
メニューが閉じます。

5 バックアップ

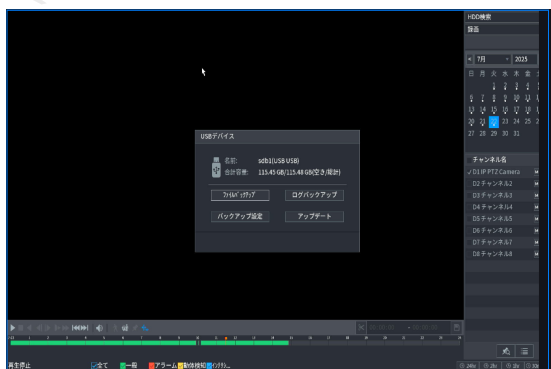


- ①ライブビュー画面で右クリックし、
「検索」を選択します。



- ②検索画面が表示されたら、
USB メモリをレコーダー本体に挿入します。

※USB ポートはレコーダーの前と後ろにあるので、空いている方のポートをお使い下さい。



- ③画面上にウィンドウが表示されたら、
「ファイルバックアップ」を選択します。

④各項目を指定します。

保存先：保存先ディレクトリの指定（挿入した USB メモリになっているのでこのままで構いません）

録画チャンネル：録画を保存するチャンネルの指定

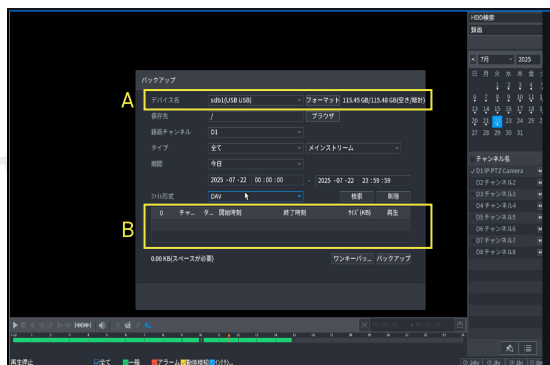
タイプ：保存する録画のタイプ（一般、アラーム…等）

開始 / 終了時刻：保存する録画データの開始 / 終了時刻を指定

ファイル形式：保存するファイルの形式を指定（推奨：DAV）

防犯カメラ操作説明書 基本編(簡易版)

SUN\EAST



- ⑤各項目を指定し検索を押すと、対象の録画データが抽出されウィンドウに表示されます。「バックアップ」を押すとバックアップが始まります。

- ⑥次にバックアップを保存したいデータの終了時間をクリックし、再度「✕」マークをクリックします。

- ⑦最後に「保存」ボタンをクリックします。

- ⑧A USB メモリが認識されていること、B バックアップされる録画データの内容を確認し、「バックアップ」ボタンをクリックします。

※B に不要なデータがある場合は、リスト左側にあるチェックを外すとバックアップから除外できます。

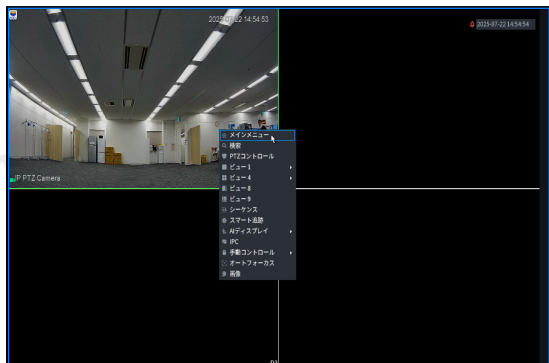
- ⑨保存場所を確認・選択し、「開始」ボタンをクリックしてください。

※左下の「新しいフォルダ」ボタンをクリックすると、新しいフォルダを作成できます。

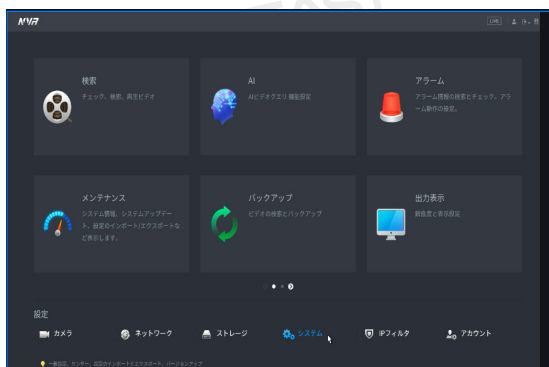
- ⑩「バックアップが終了しました」と表示されましたら「OK」をクリックしてください。

- ⑪USB メモリにデータと再生ソフトが保存されていますので、そのデータをパソコンにダウンロードし、再生してください。

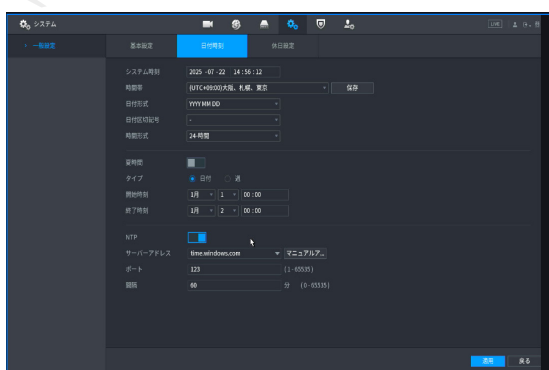
6 日時設定



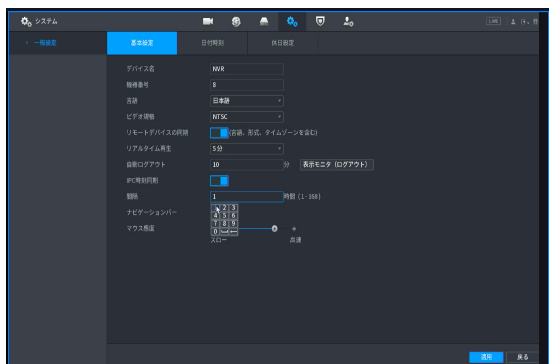
- ①ライブビュー画面で右クリックし、「メインメニュー」を選択します。



- ②メインメニューで「システム」を選択します。

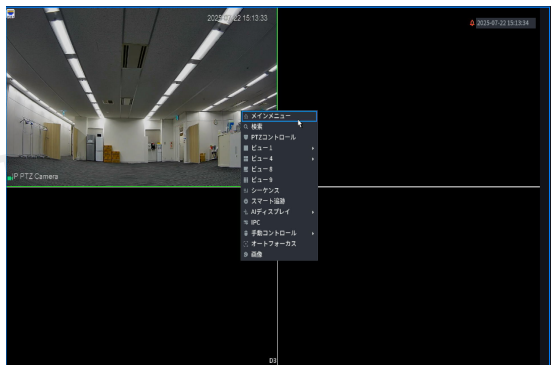


- ③画面上部にあるタブから「日時時刻」を選択します。
開いたページ内にある「システム時刻」を任意の時刻に変更し、「適用」を押してください。
レコーダーがインターネットに接続されている場合はNTP をオンにすると時刻が自動で同期されます。



- ④カメラとレコーダーの時間のズレが気になる場合は基本設定の「IPC 時間同期間隔」を1時間に変更すると改善します。

7 ログアウト・電源オフ・再起動



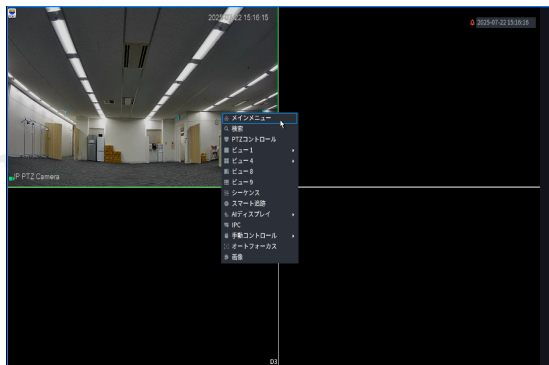
- ①ライブビュー画面で右クリックし、「メインメニュー」を選択します。



- ②画面右上にある「」を押し、プルダウンされた「ログアウト」「電源オフ」「再起動」より任意のものを選択してください。

※電源オフの場合、最後に「電源をお切りください」と表示されますが、機種によってはパワースイッチが無いので、プラグをコンセントから抜いて電源をお切りください。

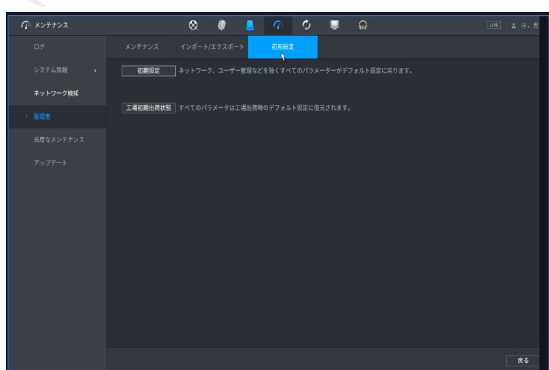
8 本体リセット方法(工場出荷状態)



- ①ライブビュー画面で右クリックし、「メインメニュー」を選択します。



- ②「メンテナンス」を選択します。

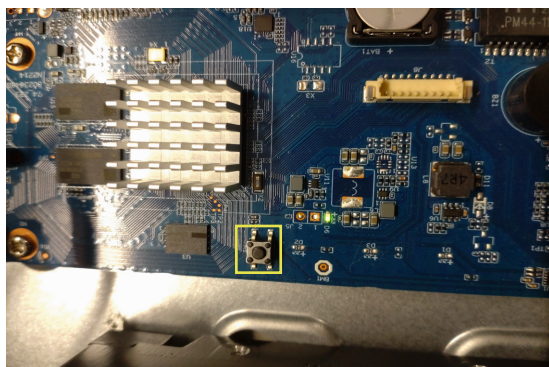


- ③「管理者」→「初期設定」を選択します。

初期設定：すべての設定値を初期値に戻します

工場初期出荷状態：工場出荷時と同じ状態に戻します。

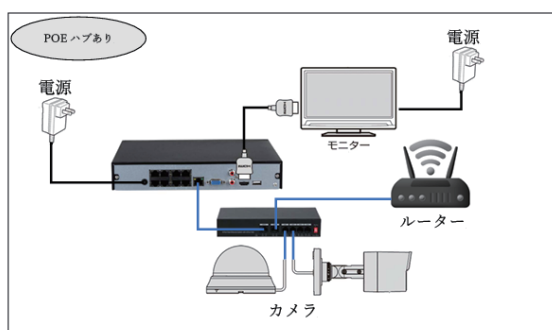
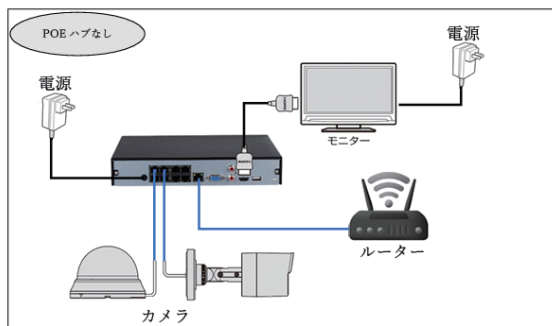
※レコーダのリセット作業をしてもIPカメラのリセットはされません。
IPカメラのリセット作業せず接続してしまうとIPカメラに以前レコーダで利用していたパスワードが引継ぎされます。IPカメラも含めた機器のリセットが必要な場合は個別にIPカメラのリセットが必要になりますので、ご注意ください。



※レコーダー本体の物理ボタンを使用しても工場初期出荷状態へ戻すことが可能です。

レコーダー上蓋を止めているネジを外し、上蓋を開けると次のようなスイッチがあります。(機種によって場所は異なります。)
レコーダーを一度シャットダウンし、再度電源を入れてからボタンをピープ音が鳴るまで長押しします。
ピープ音が鳴ったらリセット完了です。

9 接続方法



①良くいただく質問に接続方法があります。

PoE ハブなしと PoE ハブありがあります。

※POEハブを利用しない場合は、左の図の「POE ハブなし」の項目にあるレコーダの POE チャンネルポートに接続してご利用ください。

POEハブを利用する場合は、左の図の「POE ハブあり」の項目にあるレコーダのイーサネットポートを利用して接続をお願いします。この場合は、IPカメラにIPアドレスの振り分け設定が別途必要になります。ご注意ください。